

港合同

昌一金属支部第55回定期大会 新執行部体制を確立

支部機関紙「すくらむ」より転載

去る八月二十九日、我が支部は第五五回定期大会を田中機械ホールにおいて開催しました。

支部組合員の皆さんには、残暑厳しい中での作業後の結集大変ご苦労さまでした。

午後一時半から開会した大会では、山本副委員長による開会あいさつの後、入村・児玉両議長が選出され、議事に取りました。

冒頭、執行部を代表してN委員長が発言に立ち、この一年の組合員の皆さま

全国金属機械労働組合 港合同
大阪市港区南市岡3-6-26
TEL 06-6583-4858
FAX 06-6583-4600

んの奮闘・努力に敬意を表しながら、企業を取り巻く情勢が厳しさを増しているが、支部も若返りを図りながら、ますます団結を固めて闘っていきましょうと述べました。また今期加入した二名の若い組合員が紹介されました。

続いて大会に駆けつけて頂いた来賓の方々からご挨拶をいただきました。港区選出のおくの市会議員の事務所から事務局長で来年市議選に民主党

公認候補として出馬する江川広志さんは、おくの

市議の七期二八年の実績を引き継ぐ決意を述べられました。

今大会には労金大正支店の表支店長が初めて参加され挨拶をいただきました。

南大阪平和人権連帯会議議長で、全港湾大阪支部の山元委員長は、五五



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



年の歴史は職場の中に団結を守ってきたということであり、長い間の闘いで鍛えられてきた皆さんだということ。アベノミクスはお金をばら撒き、独占資本が儲けるための政策。沖縄の辺野古でボーリング調査に対して連帯労組に続き全港湾も現地派遣して共に闘っていく

と述べられました。

朝鮮総聯西大阪支部の沈基鳳委員長は、この七月で三期目となる。高校無償化裁判、府庁前火曜日行動を闘っている。連帯の輪を広げていこうと挨拶されました。

全日建連帯労組関西生コン支部の武谷書記次長は、平日の昼間の定期大会の開催はすごいこと。五五年の歴史は先人の汗と犠牲の上に大きな成果を勝ち取ってきた。労働組合の組織率低下が言われているが、団交やストライキ、活動を増やしていき、闘っていく中で労働者は社会の仕組みをつかむ。水曜街宣の取組み

も、企業だけでなく他にも働きかけていくもの。関西生コンでも、自分たちだけの要求ではなく、全体的な要求を掲げて闘う。本来の労働組合のあり方を取り戻し、戦争の問題もある、共に闘っていくと述べられました。

港地区平和人権連帯会議から議長で港合同の村委員長の挨拶。支部の五五年の歴史は多くの先輩の努力。ここ数年で経営も替わった。港地区は南大阪に結集する一地区として官民連帯・大阪港軍港化阻止・争議組合支援を大きな軸に闘ってきた。今日、橋下の組合攻撃で、公務員労働者は厳

しい職場状況の中で仕事をしている。仲間からのチクリという分断、社会の現状そうなっている。この中で六人の入れ墨被処分者の闘い、山場を迎えているが必ず勝利させようと挨拶されました。

大阪市斎場解雇撤回裁判を闘う原告団から、UさんがK団長のメッセージを携えて駆けつけていただいた。メッセージでは、裁判が最高裁に移り、勝利を勝ち取り報告できるようにがんばる決意が述べられました。

港合同各支部より挨拶。田中機械支部の玉置委員長からは集团的自衛権行使容認の閣議決定につ

いて、戦後六九年、大きなターニングポイントを迎えていることが指摘され、大熊鉄工支部のH委員長からは、組織労働者として権利拡大と共に未組織労働者の組織化へのさらなる奮闘が要請され、南労会支部のK委員長から、争議解決から一年半、新たな労使の対抗関係とケアセンターの運営の苦闘と診療所とケアセンターの組合員が一体で支部をつくっていくために昨年一〇月に大会を開催したと報告され



た企業を取り巻く情勢が様変わりし、時代が大きな分岐点を迎えている中で開催された大会でした。今大会に駆けつけて頂いた多くの来賓の方々

最後に港合同事務局からN事務局次長が、この一年の未組織の組織化の取組みを具体的に数件の紹介をしながら、オルグが様々な企業に飛び込んでいく、その後ろを引く金属支部が支えている役割を高く評価していただきました。

議案の提起は、①年間総括、②地域の闘い、③秋冬総括、春夏総括、④厚生部・支部の会計報告と予算案、⑤活動方針、⑥役員選出がそれぞれ全体の拍手で圧倒的に確立されました。今大会は、集団的自衛権行使容認に代表される社会情勢や電力動向、ま

や交流会に出席頂いた地域の仲間、寄せられた全国からの連帯メッセージ、支部OBも一言メッセージや交流会に参加していただきました。このことこそ我が支部が長年、地域と共に闘い抜いてきた成果であり、支部の財産そのものです。改めて多くの仲間を支えられて我が支部があることを自覚し、その期待に応えられるよう、ますます支部の団結と闘いを強化していきます。今期、三名の拡大をもって新体制で臨む執行委員会は、全力でその先頭に立って闘う決意です。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！